令和元年11月29日第3号

発行を安来市地域包括支援センター

電話 (0854) 32-9110 (0854) 32-3310 https://www.yasugi-hokatsu.jp/



安来市地域ケア推進会議を開催します

最期まで住み慣れた地域で、自分らしく、尊厳と生き甲斐をもって暮らしていくために、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築が求められています。 その具体策として「住まい」「医療」「介護予防」「福祉」「生活支援」の一体的な提供体制の仕組みづくりが求められています。

今回は、地域包括ケアシステムにおける<u>「すまいとすまい方」</u>について、これからの地域共生社会の実現を目指し開催します。

日時

2020年2月24日 (振替休日) 13:00~16:50

会場

安来市総合文化ホール アルテピア(小ホール) 安来市飯島町70 TEL: (0854)21-0101



講演 I 「福祉と住宅施策との連携について(仮題)」 濱島 章 氏(厚生労働省社会・援護局地或副課生活取窮者自立支援室長補佐)

講演Ⅱ「これからのすまい・すまい方について(仮題)」 落合 明美 氏(一般財団法人高齢者住宅財団 企画部長)

報告・提案①「安来市における地域ケア会議の取り組みについて」

報告・提案②「第7期安来市介護保険事業計画の推進とすまい方について」

報告・提案③「居住支援の取り組みから見えてきた課題について」

全体協議「地域包括ケアシステムにおけるすまいとすまい方について」 コーディネーター 落合明美 氏

◆参加者 :200名程度

◆問合せ先:安来市地域包括支援センター(高齢者まるごと相談センター)

〒692-0404 安来市広瀬町広瀬754 広瀬社会福祉センター

TEL:(0854)32-9110 / FAX:(0854)32-9114 (担当:原田)

◆申込み締め切り:令和2年1月31日(金)

「休日相談」を開催しています

日頃、お仕事などで相談できない方への相談窓口として、休日相談を実施しています。 高齢者の方の介護・福祉・生活・認知症、ご家族の介護離職等に関する相談を受け付けています。 申し込みは不要で、相談は無料です。

時間:毎月第1日曜日 9:30~12:00

会場:安来中央交流センター2階 第4会議室

本年度の開催日程

時間外電話受付・緊急訪問対応について

「夜間・早朝・休日」の電話受付を行っています。 時間外(平日17時15分以降、土日祝日)の電話は転送となり、 当番の職員がいつでも相談に応じています。

▼基幹センターひろせ (0854) 32-9110

▼サブセンターはくた (0854) 37-1540

▼サブセンターやすぎ (0854) 27-7100



集計期間 4月1日~9月30日

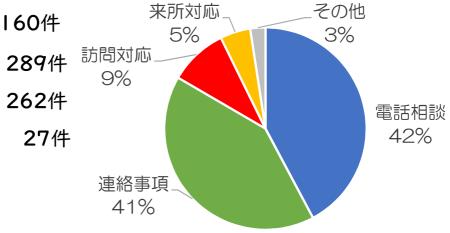
時間外の相談対応件数

■総合相談件数(全体)2|60件 来所立

■時間外対応件数 289件

(内訳) 雷話·来所 262件

緊急訪問対応 27件



~こんな事例に対応しました~

- 一人暮らしの方で、体調不良を訴えられる方に対し、自宅訪問。医療機関、 ご家族と連携し、入院ができるよう支援しました。
- 安来市社会福祉協議会と連携し、住まい探し、就労への支援を行いました。
- 日中は仕事のため気軽に相談できないご家族からも、時間外に連絡を取ることができ助かるとのご意見をいただいています。

「校区別地域ケア会議」を開催しています

- ■民生委員、介護支援専門員による事例提供を通じ、各中学校区における高齢者の「すまいとすまい方」に関する現状及び課題を共有し、それぞれの地域に必要な資源及び施策等を協議することで、高齢者等が住み慣れた地域で暮らし続けられる住環境整備について協議することを目的に開催しています。
- ■事例に応じ、様々な部署からの助言もいただき、校区別の特徴的な課題について認識することができていると感じます。共通した課題については、政策に繋げることができるよう、他の部門、会議等と連携を図っていく必要があります。



▲伯太中学校区 地域ケア会議の様子



▲広瀬中学校区 地域ケア会議の様子

参加者の声(一部)

- ●住み慣れた地域に住み続けたい人が 多いと思う。住み続けるための支援の仕 組みづくりが大切ではないか。住み替え には費用がかかり簡単にはできない。
- ●小さな拠点づくりが良いと思います。これからは公の機関のみに頼らず、自分達で考え行動する必要があると感じた。拠点づくりの取り掛かりは公の機関の協力があるとよい。

「こけないからだ体操」3地区の交流会を開催しました!

- ■前年度から実施している広瀬地区「町帳有志」と、伯太地区「日次女性部」、安来地区「島田梨の花サロン」代表者2名の参加により、10月11日町帳集会所において3地区の交流会を開催しました。
- 一緒に体操をし、その後、意見交換。すべての体操が終わると、思わず「はあ~」とため息も聞こえる中、町帳のメンバーはけろりとした顔で「いつもやってることだわね・・・」と余裕顔でした。さすが、「年半の継続の力!改めて感心しました。





■意見交換では「どうしたら継続できるの?」「声がけや役割分担は?」など、具体的な質問が出たり、町帳のメンバーからは「最初は出来るのか不安だったけど、今では本当に楽しみです」との言葉が聞かれました。

日次、島田の参加者からは「実際に来て見て、話が聞けて良かった!」「他地区での様子がよくわかり、参考になった!」などの感想もあり、スタッフもなるほどと、感心する場面が何度もありました。

「認知症本人交流会」を開催しています

認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける「共生社会」を目指し、ご本人の思いを実現していくことが、ご本人の病気の進行をより穏やかにし、また、認知症のご本人たちがいきいきと活動する姿を発信することで認知症への偏見をなくすことにつながると考え、このたび、県を跨いで安来市、松江市圏域、鳥取県西部圏域に住む認知症のご本人が"今、やりたいことを実現するプロジェクト"を立ち上げました。パートナーも共にやりたいことを楽しみます。

認知症のご本人が自らの言葉で希望や生活のしづらさを語っていただくことで、真に当事者主体の政策形成や支援活動につながるものと考えます。



毎月第4金曜日、午前11時から、安来市、米子市交互に実施していますが、やりたい事によって会場は変わります。

次回は12月27日(金)米子市・わだや小路で 開催予定です。